

本社の意旨ハ重役所有ノ解雇ヲ補充スルモノ、如クナルヲ以テ他日他支店ヨリ會社所有ノ解雇ヲ補充スルモノト思料セラレ、此ノ場合今回ノ解雇船夫ヲ補充解ニ乘リ込ミシメラレタリ、之今回整理セラル、重役所有ノ解雇ヲ解雇船夫ニ償價ニテ償還セラレタリ

之今回整理ニ由リ會社ヨリ解雇ノ返還ヲ受ケタル重役ハ勢イ個人ニテ回漕業ヲ関係スルモノト思料セラル、ニツキ其際今回ノ解雇船夫ヲ優先的ニ使用セラレタリ

右三案ニ對シ支店長ヨリ一項二項ヲ拒絶シ三項ニ對シテハ解雇船所有ノ重役ノ意旨奈クニアルヤ計リ知ラサルヲ以テ即答不可能ナリト拒絶セラル等會社ノ態度強硬ナルヲ以テ持久戦ニ依リ對抗スヘク罷業決行セントシタルニ而早給者多ク遂ニ罷業ヲ決行スルニ至ラス、他方船夫側ニ於テハ前回ノ争議ニ依ル貴書ノ各項ニ基キ仕込金ノ貸付ヲ受クヘキ答ナリシカ會社側

ニ於ケル貴書改善ノ策動アリテ争議團ノ結束漸ク紊ル、ニ至リタル為メ幹部間ニ於テ協議ノ結果前回ノ調停者岡野虎彦ニ交渉ヲ一任スル模様アリ、尚前回争議ノ際ニ於ケル貴書ハ左記ノ通り貴書ヲ交換併進ス

左記
覺書

昭和六年六月二十日附決定セシ解雇補充貸付制度ヲ當時者双方完全ナル合意ヲ以テ昭和六年七月廿七日限り之ヲ廢止シ該貴書ニ關スル事項ハ一切更動トス

昭和六年八月二日

錦島町運送株式会社

取締役社長 江波 戸常吉
取締役 早水 美之助